

# 広報 せいの

No. 171



'82

# 8-10

編集と発行 佐井村役場 民生相談課  
青森県下北郡佐井村大字佐井字糠森20番地  
電話 (017538) (代) 2111

7月末現在人口(前月比)

男	2,146	( - 3 )
女	2,128	( + 1 )
計	4,274	( - 2 )
世帯数	1,140	( + 1 )



## 老人クラブ寿会による

## 庁舎前花だんの整備

# 第十一回下北郡身体障害者

## スポーツ大会開催

去る、六月二十七日佐井中学校グラウンドにおいて、第十一回身体障害者スポーツ大会が開催されました。

あいにくの空模様で、午前中の

競技を行っただけで閉会されましたが、当村選手団は、見事総合優勝の栄誉に輝きました。

尚、種目別の成績は次のとおりです。大変ごくろうさまでした。

### 競走の部

百メートル

- 第一位 寺嶋 清隆
- 〃 宮野 政治
- 〃 東出 ミツ

### 跳躍の部

立巾跳

- 第一位 樋口 玉一

走巾跳

- 第一位 山本 長五郎

### 投てきの部

砲丸投

- 第一位 奥本 俊典

槍正確投

- 第二位 田名部 長次郎
- 第一位 宮沢 岩五郎

ソフトボール投

- 第一位 板井 藤太郎

〃 奥本 房雄

〃 山田 作太郎

第二位 草薙 茂夫

〃 東出 きみ子

(障害区分による順位です)



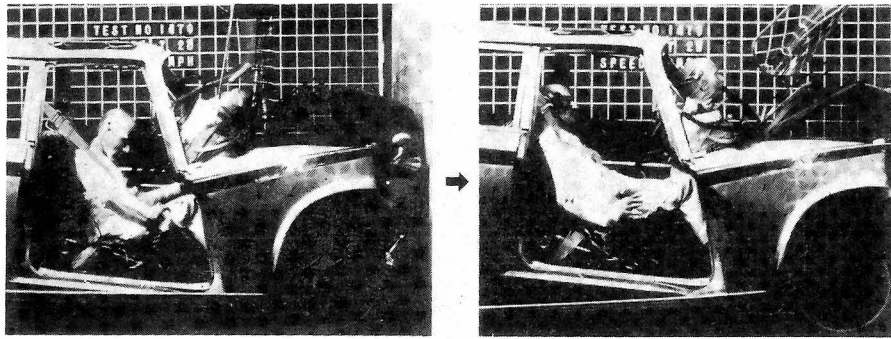
選手団入場行進

## 姉妹町村南茅部町 老人クラブ来村

去る、六月二十四日、南茅部町老人クラブが(会長 西谷定二)来村し、初めて本村老人クラブ寿会と「老人クラブの現状」について意見交換等を行い、親睦を深めました。

これからも、南茅部町との交流が深まるよう願います。





# シートベルトは

## あなたを守る命綱

佐井村では、只今交通事故死ゼロの日が昨年の十二月に、三、五〇〇日を達成しました。

八月一日～八月三十一日「シートベルト着用推進運動」

交通事故を防止するには、村民一人ひとりの交通安全運動が大事であり、特に運転車の方々にお願いしたいことは、シートベルトの着用です。

# シートベルト

## 着用協力

自分がどんなに安全運転をしているつもりでもいつ追突されたり対向車にぶつかってこられたりするかわかりません。あるいは、ちよつとした自分の不注意で事故を起こすこともあります。このように、ドライバーは勿論、車に乗っている人は、だれでも、交通事故の危険があります。もし事故が起

きたとき、我身を守ってくれるのは、シートベルトです。

ある自動車メーカーの調査によれば、シートベルトを着用しないドライバーの死亡事故は、二〇キロという自転車なみの速度でも起きていているということです。

これは、衝突したときの衝撃がいかに大きいかということと同時にシートベルトの効果もあるということです。実際、県内でも速度八〇キロで立木に衝突したが車は大破したものの運転者がシートベルトを着けていたため、二週間の軽いけがですんだという例もあります。

このように効果のあるシートベルトですが、着用している人はほ

んどありません。シートベルトの着用を習慣づけることによって、交通事故による死傷者を無くすることが出来ますから、シートベルトを着用することに御協力をお願いいたします。

# 青少年健全育成推進員

## 委嘱される

次代をになう青少年の健全育成運動を村ぐるみで実践し定着させるため、四月一日より、次の方々を推進員として委嘱いたしました。推進員の任務は、青少年の健全な育成のために、①地域のいろいろな活動を推進し、村民運動の実践活動を行う。②関係団体（学校、

PTA、町内会、部落会等）と連携をとり合い、協力できる体制づくりをする。③青少年問題の相談や青少年関係条例等の周知をすること。④その他青少年に関すること。となっておりしますので、地域でのささいな事でも気軽に相談下さい。

担当地区名	氏名
古佐井	山路英夫
古佐井	中村和子
大佐井	内田信義
大佐井	坪谷和子
原田	万谷雅之
川目	工藤アサ
天越	館脇昌子
磯谷	新田好右衛門
長後	大石光明
福浦	山本幸治
牛滝	野村義勝

幸せは家族みんなの対話と協力から

**第三日曜日は  
家庭の日**

# 幻の佐井遊女お玉

## (第二回)

佐井村中央公民館長補佐

大石 健次郎

### 三戸家の文書

三戸良藏家文書表紙書きに、「弘化二年 永代諸用控 巳正月吉日」。裏書きに、「四代目三戸長左衛門(前名与八)」と、しるされた、十八枚綴り—三十一ページの文書がある。

これによると、三戸家は、二代目長太郎、三代目長左衛門、四代目長左衛門、五代目長太郎、と明記されている。

このなかに、天保十一年七月二十八日(一八四〇)の、大佐井七十軒焼失の大火災の状況をのべている。(村誌上巻五五七ページ収録)

同書のなかに、「十月長太郎父箱館より帰宅に付き」……とあるが、四代目長左衛門のことであろう。この人は、火事後、十月に帰村し、金拾両を工面して、天保十三年(一八四二)三月に家屋を新築している。四代目は、函館に滞留し、そこに職場をもっていたらしい。

### 三戸文書の米艦来港

佐井に黒船来港—遊女お玉—などの記述に、利用された原本は、四代目の署名入り、「永代諸用控」(一八四五)である。

次に、ほんの少し、カットして読みやすくし、原文のまま紹介してみたい。

『嘉永七寅年四月十五日 はじめてアメリカ船三艘きたり。このときはじめて知る故、御上

様にても格別 御心配致しあそばされ、御百姓へ御仰せ渡し候にも、いまだ異船参らざるなり。

さて追々アメリカ船到来いたしに付、女どもは、在方知り合ひ有りし候ものは、其方まで行くべし。また知り合ひこれなき者は、遠き山へ小屋をかけ、引越しべし。且つまた、南方津軽までにて、勝手をもつて引越し、異人到来の節は、決して目にかかり申さず—申趣き、重々きつく仰渡し候に付、

それぞれ在方知り合ひの方へゆき、或いは奥山へ小屋をかけ、または向地へ渡海するもあり、無據(註・よんどころなく)、家内に居合ひ候女は、土蔵に入り、または穴蔵に入り—いろいろ様相かくれ、中にも困る者は、菊屋方売女なり。皆商売なく休み候

申し、ことの外心配の由、承り申し候。

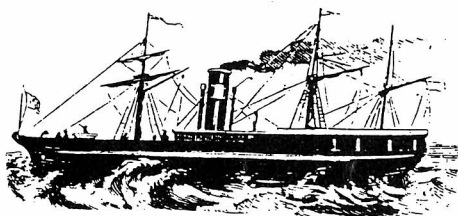
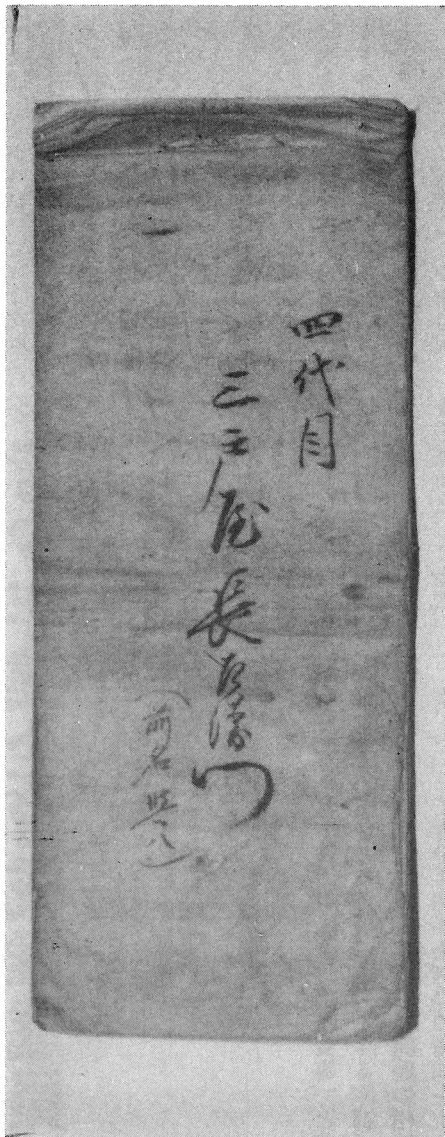
異人到来上陸、諸々徘徊いたし候えども、何の異変も、また女に行合ひ候ても、別条もこれなく申し、追々女人も町に出て見物いたし、

それより引続き、アメリカは申しに及ばず、ヲロシヤ、イキリシ、フランシ諸国より船々追々年々切間なく—次第に心安かと相成り。』

以上が、佐井村の黒船騒動の記述として、引用されてきたものである。昭和四十五年の尻岸内町史に、この原本の写真(黒船来港と、遊女お玉の記述)二葉が掲載されている。

紹介者は、奥本静一氏で、同氏は、すでにこの頃から、「これは

函館のことを書いてあるのだよ」と話しておられた。さすが郷土史の先覚者と感銘している。



# 第一回「青森県コミュニティ作文」

## 提言コンクール

### 応募要領

いま住んでいるこのまちを、もつと住みよいまちとするために、私たちは何をしたらよいのでしょうか。

住んでいるまちがうるおいのある住みよいところになってほしいという願いは、みんなの願いです。「コミュニティづくり」とは、この願いを実現するために、私たちみんなが力を合わせて、住みよいまちづくりをすすめていく活動のことです。

美しいまちづくり、みんなの健康づくり、交通事故や防火・防犯対策、地域の福祉、省エネルギー省資源運動、冬の除排雪、スポーツ、レクリエーション、文化活動、青少年の健全育成……コミュニティ活動の分野は、たくさんあります。

これらの課題に向かって、みんなの知恵や力を合わせて、私たちひとりひとりが積極的に取り組んでいくこと、そして、県や市町村などの行政主体と、信頼と理解をも

作文、提言のほか、次の事項を原稿用紙の末尾に記入して送付してください。

- ・中学生及び高校生
- ・学校所在地
- ・学校名
- ・学年
- ・氏名(ふりがな)
- ・性別
- (一) 一般
- ・住所(電話番号)

- ・氏名(ふりがな)
- ・性別
- ・年齢
- ・職業
- (五) あて先

佐井村企画室(電話二二二一)  
昭和五十七年九月十日

(六) 募集メット

(七) 賞及び賞品(中学生の部、高校生

の部及び一般の部とも)

・最優秀賞(一名)：賞状、盾、副賞

・優秀賞(二名)：賞状、盾、副賞

- ・入選(若干名)：賞状、副賞
- (六) 発表表
- 入賞発表は、十月上旬行い、各入賞者へ通知します。
- (九) 表彰表
- 最優秀賞及び優秀賞受賞者は、青森県庁において表彰します。
- (十) その他
- ・応募作品は、自作の未発表のものに限りま
- ・応募作品は、返却しません。
- ・入賞作品の著作権は、青森県に帰属します。

## 青森県電電絵画、

## 作文募集のお知らせ

電電公社では、本年十月、三十周年を迎えますが、この記念行事として、絵画、作文コンクールを実施します。

電電電話に関することなら、どんな絵や作文でもよいですから、応募要領によりどしどしお送り下さい。

### 種目

絵画の部

A3版程度の大きさに水彩画で。

作文の部

四百字詰原稿用紙三枚程度

### テーマ

「電電電話に関するもの」とする。

締切日

昭和五十七年八月三十一日(必着)

送り先

大間電報電話局

問い合わせ先

青森電気通信部電電絵画、作文コンクール事務局

電話(〇一七七)七四一九一

二一

大間電報電話局

電話(〇一七五二七)二〇〇〇

### 応募資格

小学校高学年(四、五、六年)

### 賞

絵画の部、作文の部とも、各

電話(〇一七五二七)二〇〇〇

# 国民健康保険税の

## 税率きままる

## 税金の納期内納付にご協力ください

国民健康保険の届出がおくと  
保険税をさかのぼって納めなけれ

ならないので負担を強く感じます。

忙しいからつい納税を忘れていた  
という方はいませんか。税金の納  
期内納付にご協力ください。

納税貯蓄組合に加入している方は  
各納期にあわせて掛金してください。

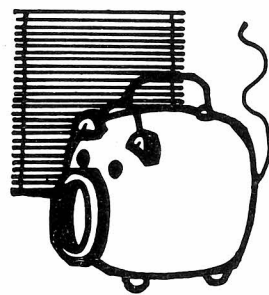
国民健康保険の費用のうち保険給  
付費（村から医療機関に支払う金  
額）は、国で負担する額のほかは  
保険税でまかなうことになってい  
ます。本村の保険税は国民健康保  
険に要する費用から国県支出金な  
どを差し引いた額を被保険者負担  
としています。

### 国民健康保険の 手続はすみやかに

世帯に属する被保険者の資格に異  
動があったときには届出をすみや  
かにしてください。

各税金の納期限について

区分	第一期	第二期	第三期	第四期
村民税	六月末日	八月末日	十月末日	一月末日
固定資産税	五月末日	七月末日	十月末日	二月末日
国民健康保険税	七月末日	九月末日	十一月末日	一月末日
軽自動車税	五月末日			



この保険税はみなさんの所得、資  
産の状況と家族の人員などによっ  
てきめられます。

本年度は、つぎのように税率（税  
額）の割合がきまりました。

①所得割：村民税所得割額の百分  
の五・四

②資産割：固定資産税（土地・家  
屋）額の百分の六十五

③均等割：被保険者一人につき一  
〇、二〇〇円

④一世帯につき：一二、六〇〇円  
本年度の保険税は①②④で算出し、

第一期（七月）、第二期（九月）、第  
三期（十一月）、第四期（一月）に分  
けて納めていただくことになりま  
す。

なお、本年度から課税限度額が二  
十七万円（前年度二十六万円）に  
引き上げられました。

### 国土利用計画法の

### 土地取引規制に

### ついてのお知らせ

△土地の取引には届出が重要です。  
定められた広さ以上の土地取引  
をするときは、契約する前に村長  
を通して知事に届出が重要です。

届出が必要な広さは、

①市街化区域は二千平方メートル  
（約二反歩）以上

②都市計画区域以外の区域は一万  
平方メートル（約一町歩）以上  
です。

▽一団の取引も届出が重要です。  
一まとまりの土地を二人以上の  
土地所有者から買うとか、多数の  
人に分割して売る場合のように、  
一人当りの取引面積が定められた  
広さ以下の取引であっても、また

めると定められた広さ以上になる  
場合は届出が必要です。  
▽届出を必要としない取引もあり  
ます。

農家の人が農地法第三条の許可  
を受けて農地として取引する場合  
や、国、地方公共団体が取引の相  
手方であるなどの場合には届出の  
必要はありません。

▽取引価格と利用目的を審査しま  
す。  
届出を受けた知事は、取引予定  
価格が著しく高すぎたり、また利  
用目的が土地利用の計画にふさわ  
しくないときは、土地利用審査会  
の意見をきいて、取引価格の引下  
げや、取引の中止を勧告するなど  
して適正な取引を行わせることに

なります。

問題がない場合には、届出日か  
ら六週間以内に勧告をしない旨の  
文書で通知し、この通知を受け取  
れば契約ができることとなります。  
▽届出をしないと罰せられます。  
届出をしないで土地取引をした  
り、偽りの届出をすると、六ヵ月  
以下の徴役または三十万円以下の  
罰金に処せられることがあります  
ので、充分注意して下さい。

▽気軽に相談を

詳しいことについては、企画室  
へご相談下さい。届出書の用紙は  
窓口にて備えてあります。

# ごみは区別して出そう

佐井村不燃物埋立最終処分場が完成し、すでに稼動している事はみなさんご存じと思います。

また、焼却炉も九年目をむかえています。炉内に燃えないものが入りますと炉を壊す原因になります。これら施設を永く衛生的に使用

うため次のことに注意して下さい。

- (一)燃えるものと燃えないものは区別して出して下さい。
- (二)各種ごみは指定された日以外は出さないで下さい。
- (三)危険物(油類、爆発物、スプレ

「類は必ず穴をあける」は出さないで下さい。  
粗大ごみで、冷蔵庫等のモーター類は取りはずして出して下さい。

その他詳しい事は役場へ連絡して下さい。



土	磯谷、長後、福浦、牛滝	古佐井、原田	大佐井、矢越、川目	大佐井、矢越、川目	もえるもの
金	磯谷、長後、福浦、牛滝	古佐井、原田	大佐井、矢越、川目	大佐井、矢越、川目	もえないもの(空カン等小さなもの)
木	大佐井、矢越、川目	大佐井、矢越、川目	大佐井、矢越、川目	大佐井、矢越、川目	もえない粗大ごみ(冷蔵庫、洗たく機等)
水	磯谷、長後、福浦、牛滝	大佐井、矢越、川目	大佐井、矢越、川目	大佐井、矢越、川目	毎月第二火曜日 磯谷、長後、福浦、牛滝
火	古佐井、原田	大佐井、矢越、川目	大佐井、矢越、川目	大佐井、矢越、川目	毎月第三木曜日 矢越、川目、原田、大佐井、古佐井
月	大佐井、矢越、川目	大佐井、矢越、川目	大佐井、矢越、川目	大佐井、矢越、川目	



上手な人が話して聞かせ、度胸試しをするなどの楽しみもあったようです。  
最近クーラーの普及で、涼味を怪談に求める必要がなくなつたというせいでしょうか、お化けの出る話はあまり聞きません。

「草木も眠る丑三つ時、雨のそぼ降る柳の蔭に、足元のおぼろげな人の姿がスーッと現れて」といった調子の怪談は、夏、特にお盆がシーズン。ぞくぞくとする気分で涼しさを味わおうというわけですが、どうも現代っ子にはピンとこないようです。

## 怪談咄

映画や映像でどぎついシーンに慣れているせいもあり、また最近では、家の構造も変わって、夜中に家の外の暗いトイレに行くこともなくなつたせいでしょう。

怪談は、昔から説話文学などの形で伝えられてきました。が、講談や芝居で怪談が盛んになつたのは江戸時代になつてから。乾坤坊良齋が自作自演した「四谷怪談」、三遊亭円朝の「牡丹灯籠」などが特に知られています。

また、江戸時代には町人たちの間で、夏の夕方、怪談の



で、奇怪な像(ゴースト)となつて見える——ということもあるようです。  
そのために、ドライバーが錯覚を起こしてハンドル操作を誤り、事故の原因になる——このような道路は、怪談咄ど一笑に付さないで、点検した方がよさそうですね。

でも、今様怪談で、道路に幽霊が出る話を耳にすることがあります。調べてみると確かにそこが交通事故のあったところだったりします。そして、夜になると、道路の照明や周囲の明かりの具合など

# 戸籍の窓口

七月二十九日現在

## ◎お誕生おめでとう

渋谷裕次郎(三佐男) 古佐井  
 細間 伸也(直文) 長後  
 小島 亜(邦彦) 古佐井  
 佐賀晃一郎(均) 古佐井  
 竹内 正(英吉) 大佐井  
 松本 一昭(昭次) 原田  
 鹿島 新也(義秋) 古佐井  
 田中 貴史(憲吉) 福浦  
 竹内悠一郎(修) 古佐井  
 坂井 麻子(文明) 牛滝  
 中西 智恵(勇) 牛滝  
 竹内 景(収) 古佐井  
 横浜 昌子(四志一) 磯谷  
 東出 和喜(昇) 原田  
 竹本みどり(純三) 古佐井  
 奥本 真紀(直文) 大佐井  
 館脇 元也(博徳) 矢越  
 石岡佐知子(勇一) 大佐井  
 大畑 聡子(憲一) 大佐井  
 石黒 智幸(操) 原田  
 川越 麻歩(貴哉) 古佐井  
 中村 孝二(勇孝) 大佐井  
 横浜 謙二(信雄) 大佐井  
 七戸三枝子(守) 大佐井  
 石戸 秀之(順一) 古佐井  
 米沢 達人(秋男) 原田  
 館脇千加子(貞男) 矢越  
 横浜 眞吾(良次) 磯谷  
 田中 健一(哲明) 磯谷  
 奥本 寛(実) 大佐井

## ◎ご結婚おめでとう

滝本 大輔(清美) 長後  
 大畑 恭平(義隆) 牛滝  
 福田 賢一(秋雄) 磯谷  
 福田 佑太(義晴) 大佐井  
 福田 周作(義一) 大佐井  
 早坂 泰樹(秀吉) 古佐井  
 田中徳四郎(文夫) 大佐井  
 西村 雄幸 大佐井  
 桑原 和子 大宮町  
 可児 正之 八幡町  
 圓子 留美 大佐井  
 横濱 浅美 原田  
 香川 智恵子 東京都  
 渋谷 川一夫 津別町  
 宮野 静子 大佐井  
 荒川 文夫 牛滝  
 伊藤 晶子 青森市  
 七戸 宗徳 矢越  
 和田 尚子 古佐井  
 渋谷 辰夫 古佐井  
 青山 留利子 中里町  
 藤田 賢一 原田  
 粟飯島 幸子 小田原市  
 長橋 勝広 西有家町  
 大石 優子 長後  
 小野寺 好実 茅ヶ崎市  
 山本 なり子 古佐井  
 逆井 義彦 青森市  
 倉谷 孝子 大佐井  
 平井 吉幸 養父町  
 岡安 順子 原田  
 神谷 順明 東京都  
 坂井 瑞穂 牛滝

福島 敏雄 古佐井  
 村口 千世子 川内町  
 森 政勝 弘前市  
 川畑 康子 矢越  
 五十嵐 隆博 弘前市  
 松本 良子 原田  
 久保田 順一 むつ市  
 木田 富子 大佐井  
 辻 義昭 大佐井  
 田巻 静子 東京都  
 中村 英麻 滝沢村  
 太田 久美子 古佐井  
 嶋津 強司 浜松市  
 田中 八重子 牛滝  
 若山 朗 古佐井  
 福士 茂子 盛岡市  
 小山 政敏 風間浦村  
 内田 裕子 古佐井  
 坪谷 光春 川目  
 倉嶋 智美 五所川原市  
 七戸 礼子 矢越  
 斎藤 礼子 最上町  
 内藤 珠要 福浦  
 相木 佳久 古佐井  
 竹内 久子 牛滝  
 東出 久子 八戸市  
 藤田 正利 古佐井  
 竹内 日出美 大間町  
 古川 弘 養老町  
 加賀 紀子 大佐井  
 島野 徹 大佐井  
 菅原 柁賀子 大畑町  
 能登 正樹 古佐井  
 島野 直子 大佐井

日比野 貴之 清洲町  
 東出 弘子 大佐井  
 岩井 武 関宿町  
 西川 郁子 古佐井  
 西谷 久 大佐井  
 掛端 れい子 東通村  
 川畑 柳幸 矢越  
 新田 美雪 大間町  
 梅田 惣次 青森市  
 柳田 さき 福浦  
 大山 邦夫 川内町  
 池田 とみ子 長後  
 土佐 達三郎 大畑町  
 佐々木 さわ 原田  
 津島 秀人 横浜市  
 能登 栄 古佐井  
 興村 幸雄 大間町  
 木田 成子 大佐井  
 松原 良和 大佐井  
 野田 光子 上磯町  
 千葉 政昭 一関市  
 坂谷 厚子 古佐井  
 菊池 真奈美 大佐井  
 小野 悦信 大佐井  
 木下 修子 新庄市  
 秋山 千カラ 今金町  
 館脇 義則 矢越  
 笠井 美砂子 むつ市  
 武田 幸男 むつ市  
 齊藤 京子 古佐井  
 滝本 明仁 長後  
 坪田 恵久子 青森市

## ■おくやみ申し上げます

鈴木仙太郎(きつ) 大佐井  
 鈴木 ミエ(きつ) 大佐井  
 米澤 のし(豊作) 原田  
 新田 常松(常雄) 磯谷  
 川村子之藏(義道) 大佐井  
 五十嵐虎男(コメ) 原田  
 橋本 豊次郎(孝夫) 牛滝  
 田中大三郎(充) 福浦  
 長尾 トヨ(金三郎) 古佐井  
 宮野榮太郎(勇) 大佐井  
 金沢たきえ(初夫) 大佐井  
 田中榮次郎(榮助) 大佐井  
 宮木 サン(正夫) 大佐井  
 正村秀次郎(正秀) 大佐井  
 坂井 そよ(武志) 大佐井  
 大石 くら(實) 長後  
 館脇 市松(志じい) 矢越  
 島野 ハル(善四郎) 大佐井  
 川谷石太郎(繁雄) 川目  
 工藤千鶴子(時夫) 川目  
 竹本 善男(眞悟) 古佐井